ウ 宿舎及び現地連絡事務所

岩手県、陸前高田市への派遣職員をサポートするため、現地連絡事務所を一関市 の派遣職員宿舎に設置した。

現地連絡事務所	所 在 地
富二屋旅館	一関市大東町摺沢字街道下23

(2) 平成24年度

平成24年度は、陸前高田市"丸ごと支援"が2年目となることに鑑み、本市職員が 策定に携わった『陸前高田市震災復興計画』を着実に推進し、陸前高田市の復旧・ 復興の道筋が確かなものとなるよう、より本市のノウハウを活かす職種に職員を重点的に 派遣することとした。

また、岩手県・仙台市についても、それぞれ要請のあった職種に職員を派遣すること とした。

ア職員派遣実績

派遣先	派遣先での職務	派遣所属先	
岩 手 県	災害廃棄物の処理業務	廃棄物特別対策室(1)	
	計	1名	
	企画政策関係事務	企画政策課(1)	
	産業労働事務	商工観光課(1)	
	防災関係事務	防災対策室(1)	
	生活保護事務	長寿社会課(1)	
	児童福祉事務	社会福祉課(1)	
	保健指導業務	健康推進課(1)	
陸前高田市	道路等復旧業務	建 設 課(1)	
	/b (B) = 1 = 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1	都市計画課(1)	
	復興計画推進 	復興対策局(1)	
	水道事業運営事務	1. 24 ± 245 = 7 (0)	
	水道復旧業務	水道事業所(2)	
	学校建設の施工管理	学校教育課(2)	
	計	13名	

派遣先	派遣先での職務	派遣所属先
仙台市	社会福祉関係業務	社 会 課(1)
	区画整理業務等	事業調整課(1)
	宅地災害復旧関係業務	北部宅地工事課(1)
		南部宅地工事課(1)
	計	4名

- (注)1 地方自治法第252条の17に基づく派遣
 - 2 派遣期間は平成24年 4月 1日から平成25年 3月31日まで
 - 3 括弧内は派遣人数
 - 4 上記以外に学校建設の施工管理のサポートのため、出張命令により3名を 派遣 (短期派遣)



出発前の激励式の様子



区画整理事業を担当する派遣職員



仮設店舗にて打ち合わせをする派遣職員



道路等の工事現場に立合う派遣職員

イ 宿舎及び現地連絡事務所の移転

岩手県、陸前高田市及び仙台市への派遣職員をサポートするため、現地連絡事務 所を派遣職員宿舎とともに一関市から移転した。

現地連絡事務所	所 在 地
陸前高田ドライビングスクール 直営寮「マイウス」	陸前高田市竹駒町字滝の里28番地1

- (3) これまで陸前高田市に派遣した職員が貢献した主な事業 (平成23年・平成24年度)
 - ・バス路線や鉄道などの交通政策の調整
 - ・財務システム及びデータの復旧
 - ・庁内LANの構築、情報ネットワークの復旧
 - ・り災家屋の調査、土地関係のデータの復旧
 - ・戸籍・住民票、国民健康保険、生活保護、介護保険、家庭ごみ収集等の 行政サービスの回復
 - ・被災した保育所、子育て支援センター等の再開
 - ・災害保健支援チームの総括、被災者に対する保健指導等の実施
 - ・震災復興計画の策定
 - ・農業・林道関係のデータの復元
 - ・被災した小中学校の施設の応急復旧
 - ・防災行政無線の復旧、地域防災計画の改訂
 - ・水道事業の運営事務及び被災した水道施設の復旧



被災した市役所で書類を捜す派遣職員



保健指導業務を行う派遣職員



住民票などの受付を行う派遣職員



林道整備の現場に立合う派遣職員

陸前高田市の子ども達を名古屋市へ招待するプロジェクト

(1) 経緯

本市が始めた陸前高田市への丸ごと支援がきっかけとなり、陸前高田市では子ども 達が修学旅行に行くことができなくなったり、不自由な環境での学校生活を送ってい ることがわかってきた。「今このとき、陸前高田の子ども達を勇気づけたい!」そんな 想いから、平成23年6月に「陸前高田市の子ども達を名古屋市へ招待するプロジェク ト実行委員会」を発足させた。

(2) 事業概要

このプロジェクトは、全て名古屋市民や企業、陸前高田を応援する方々からの寄附 や支援により実現することができた。

当初は陸前高田市の中学校1校を夏休みに招待するところからスタートしたが、本 プロジェクトの趣旨への賛同や支援が広がり、最終的には、2年間で5つの中学校か ら420名を名古屋市に招待することができた。

名古屋を訪れた中学生は、名古屋市内の観光施設の見学やプロ野球観戦、ミュージ カル鑑賞などを楽しむとともに、名古屋の中学生との交流や陸前高田市ではできない 就労体験も行った。中学生は行く先々で心のこもったおもてなしを受け、名古屋を満 喫したいただくことができた。

平成 25 年度以降は中学生に芽吹き始めた心の絆を末永く繋げていけるよう、名古 屋市と陸前高田市の教育委員会が平成24年5月2日に締結した「絆協定」に基づき、 中学生による双方向の中学生の交流を継続することとなった。

(3) 運営資金

全額市民や企業等からの寄附等により実施した。

<寄附金・協賛金額>

平成 23 年度 527 件 24,680,032 円

平成 24 年度 160 件 7,496,888 円

計 687 件 32,176,920 円

(4) 平成23年度

ア 招待実績

米崎中学校	102 名(1 年生 28 名、2 年生 27 名、3 年生 28 名、教員等 19 名)
気仙中学校	62 名(1 年生 27 名、2 年生 29 名、教員 6 名)
小友中学校	54 名(1 年生 11 名、2 年生 14 名、3 年生 12 名、教員 17 名)
広田中学校	62 名(1 年生 24 名、2 年生 27 名、教員 11 名)
合計4校	280 名(生徒 227 名、教員等 53 名)

イ プロジェクトの推進体制

(ア) 実行委員会名簿

職	名	所属団体・役職	氏 名	
委員	長	名古屋市総務局長	三宅 勝	
副委	員長	東海岩手県人会長	石井 弘子	
副委	員長	名古屋市教育委員会事務局教育次長	早瀬 弘親	
副委	員長	名古屋市総務局企画調整監	堀場 和夫	
委	員	岩手県名古屋事務所長	岩渕 謙悦	
委	員	四季株式会社名古屋公演本部長	宇田 丈宏	
委	員	全日本空輸株式会社上席執行役員・名古屋支店長	小川 正人	
委	員	TJG(東北地方太平洋沖地震復興支援学生団体)311 代表	佐藤 友利亜	
委	員	株式会社中日ドラゴンズ営業部長	近藤 康之	
委	員	中部国際空港株式会社執行役員	上用 敏弘	
委	員	株式会社ナゴヤキャッスル顧客開発本部次長	岡田 一成	
委	員	財団法人名古屋みなと振興財団専務理事	星野 正典	
委	員	名鉄観光サービス株式会社常務取締役中部営業本部長	田端 英志	
委	員	公立大学法人名古屋市立大学 医学部附属病院副病院長(看護部長)	岩田 広子	
委	員	名古屋城総合事務所長	柴田 真吾	
委	員	東山総合公園長	東山総合公園長 武藤 賀典	
委	員	科学館副館長	清水 正吉	
監	事	名古屋市会計室次長	鬼頭 敏広	
監	事	名古屋市総務局総務課長	河野 和彦	

(イ) 実行委員会の開催経過

	日付	場所
第1回実行委員会	平成 23 年 6 月 22 日	名古屋市役所 正庁
第2回実行委員会	平成 23 年 7 月 29 日	名古屋市役所 正庁
第3回実行委員会	平成 23 年 9 月 12 日	名古屋市役所 正庁
第4回実行委員会	平成 23 年 11 月 17 日	名古屋市役所 正庁
第5回実行委員会	平成 24 年 2 月 10 日	名古屋市公館 小会議室

ウ 招待内容

(ア) 米崎中学校

- a 3年生
 - · 実施期間 平成23年8月3日(水)~5日(金)
 - ・主な行程<1日目>名古屋港水族館、名古屋市公館での交流会 東海岩手県人会・大学生ボランティアとの交流会

<2日目>東山動植物園、科学館、プロ野球観戦

<3日目>市長との朝食会、名古屋城、栄周辺散策



初の名古屋訪問。 空港到着後、みんなで記念撮影。



名古屋市公館で交流会。陸前高田と名古屋の 中学生で、一緒に合唱しました。



夏の動物園。暑さも忘れ熱心に見学。 ゾウの餌やり体験にも挑戦。



夢にまで見たプロ野球のマウンドで始球式。 緊張をはねのけ、ボールは見事ミットの中へ。



名古屋の観光でお世話になったバス。 ここにも歓迎のメッセージがありました。



あっという間の2泊3日。 出発ゲートでは、笑顔と涙のお別れ。

b 1、2年生

- · 実施期間 平成 23 年 12 月 15 日 (木) ~17 日 (土)
- ・主な行程<1日目>ノリタケの森・産業技術記念館、科学館、 東海岩手県人会・大学生ボランティアとの交流会、 夜景見学

<2 日目>名古屋城(1年生)、名古屋港水族館(1年生)、 就労体験(2年生)、名古屋市役所訪問、栄散策、 ミュージカル観劇・ステージ登壇

<3 日目>名古屋城(2年生)



専用の服に着替え、 心臓血管手術を見学。



大きな音が響く工場の中。 2人一組となって、リベット打ちを体験。



水族館を見学。 見上げる先には、悠然とエイが泳ぐ。



名古屋の皆様への感謝の気持ちを込めて 市役所を訪問。



名古屋城では、武将隊がお出迎え。 現代に出現した甲冑姿に思わず笑顔。



帰りの空港には、市長もサプライズで参加。 市長と校長は、再会を誓い固く握手。

(イ) 気仙中学校(1、2年生)

- 実施期間 平成23年9月27日(火)~29日(木)
- ・主な行程<1日目>科学館、ミュージカル観劇・ステージ登壇 <2 日目>就労体験、ノリタケの森・産業技術記念館、 東海岩手県人会・大学生ボランティアとの交流会 <3日目>市長との朝食会、名古屋城、栄散策、セントレア見学



世界一の大きさのプラネタリウムで 陸前高田と名古屋の星空を満喫。



名古屋名物の「ひつまぶし」に舌鼓。 多彩な食べ方を堪能。



夢の世界が繰り広げられた舞台に上がり、 演者のサイン入り記念ポスターをいただく。



宿泊先のホテルでも歓迎のお出迎え。 歓迎の横断幕の前で、記念写真。



病院での就労体験。血圧測定に挑戦。 本物の測定器を手に、緊張の一瞬。



市長との朝食会。 名古屋での思い出を発表。

(ウ) 小友中学校(1~3年生)

- 実施期間 平成23年10月14日(金)~16日(日)
- ・主な行程<1日目>ミュージカル観劇・ステージ登壇、 東海岩手県人会・大学生ボランティアとの交流会、

夜景見学

<2日目>就労体験、名古屋まつり・ステージで発表、栄散策、 Jリーグ観戦

<3日目>名古屋城、科学館、セントレア見学



県人会・大学生との交流会。 食事をしながら楽しく歓談。



地上220メートルの高さから、 名古屋の夜景を一望。



伝統工芸「七宝焼」。 絵付けに挑戦。



名古屋まつりのステージで、 生徒全員で復興への決意を表明。



Jリーグを観戦後、興奮冷めやらぬ ピッチ上で記念写真。



名古屋城は名古屋の中学生が案内。 金シャチと一緒に満面の笑顔。

(工) 広田中学校(1、2年生)

- ・実施期間 平成23年11月23日(水)~25日(金)
- ・主な行程<1日目>ノリタケの森・産業技術記念館、栄散策、 東海岩手県人会・大学生ボランティアとの交流会、 夜景見学

<2日目>就労体験、科学館、ミュージカル観劇・ステージ登壇 <3 日目>名古屋城



織機から自動車へ。 東海地方の産業の発展を学ぶ。



東日本大震災の支援活動でも活躍した C130 輸送機に体験搭乗、名古屋の空を旋回。



プロの調理師の腕前を学び、 自分で作った料理に舌鼓。



こんな素敵な食器が、安く輸出されて いたなんて。陶磁器の歴史を学ぶ。



パーティーのためのテーブルをセット。 プロのホテルマンの心意気を勉強。



名古屋土産を手に、笑顔でお別れ。 夢と希望を胸に陸前高田へ帰って行きました。